

芋掘りイベントレポ
でっかいお芋とれた!!



豊田 治代

「あった!」「でっかいで!」「まだ続いてる!」「取れた!」10月29日絶好の芋ほり日和の中、佐保台小学校児童36名、未就学児16名、保護者39名等、合計97名の方々が参加され我々26名がスタッフとして加わり総勢123名で芋ほりイベントが開催されました。



開会式で佐保台小学校の学習アドバイザーの方も、こんなに大勢の参加は初めてだとおっしゃっていました。思いがけず沢山の方々から参加申し込みをいただき、なんせ土の下のお話、下にどれ位の大きさのどんな数のさつま芋が待っていてくれるのか、大人数の参加者の方々にいかにしたらスムーズに、安全に、楽しんで芋ほりをしてもらえるのか、我々担当幹事は準備をさせていただき中、ドキドキ続きでした!

班ごとに分かれて畑に到着し、蔓(つる)を切りマルチをはぎ取り、芋ほりの開始です。エコグループの方々が丹精を込めて育ててくださったさつま芋! 鹿さんにも負けず、夏の暑さや水不足にもめげず、大きなさつま芋が沢山収穫できました。一抱えもあるような大きなさつま芋を掘り上げた子供たちの嬉しそうな顔、顔、顔。土に触れ、土と遊ぶ喜び一杯!

掘り出した芋の中で一番大きそうに見える芋、ユニークな形のしている芋、一番長そうに見える芋の蔓、各班でそれらをもってベースキャンプへもどってきました。

それからお芋コンテストの始まりです。蔓の

長さ、芋の重さをそれぞれ、一等、二等、三等、と決められ、金、銀、銅、参加賞のストラップが配られます。その後各班で選んだユニークなお芋を前に持ってきてもらって、なんて名前を付けたのか、なぜそれを選んだのかなどについて子供たちにプレゼンをしてもらい、最後に参加者全員の、拍手の大きさを千載会長に判断してもらって、一等、二等、三等を決めてもらいました。ちなみに、テレビ、お芋三兄弟、オタマジャクシ、変身芋、「へ」と「く」、雪だるまの名前が付けられました。子どもたちの柔らかい頭に脱帽です。

コンテストが終わり、焼き芋タイムです。ベースキャンプに戻ってから、焼き芋の良いにおいが気になって仕方なかった子供たち始め、参加者全員が焼き芋に舌鼓をうちました。閉会式の後、お芋のお土産を渡して終了!



初めてイベント幹事をさせていただき、イベントは全員で作りに上げていくものだという事を今更ながら学ばせていただきました。子どもたちが意気揚々と持って帰ったストラップ、焼き芋を包んだ紙袋。細かく、色々気を付けていただき感謝、感謝です。至らないことだらけではありましたが、おかげさまで無事終わることができました。ありがとうございました。

